

◆ 吹奏楽器、合唱等の利用について

◎ 吹奏楽器等（鍵盤楽器、管弦打楽器等も含む）

舞台上の演奏者の位置から客席最前列までの距離について、最低でも舞台から水平距離で2m以上の距離を置くよう努める。それが困難な場合は、アクリル遮蔽板の設置など同等の効果を有する措置を実施する。

※図-1 参照

◎ 声楽

舞台から客席最前列までの距離について、最低でも水平距離で2m以上の距離を置くよう努める。また、歌唱位置から客席最前列までの距離について、水平距離で最低でも3m以上の距離を置く。これらが困難な場合には、アクリル遮蔽板の設置など同等の効果を有する措置を実施する。

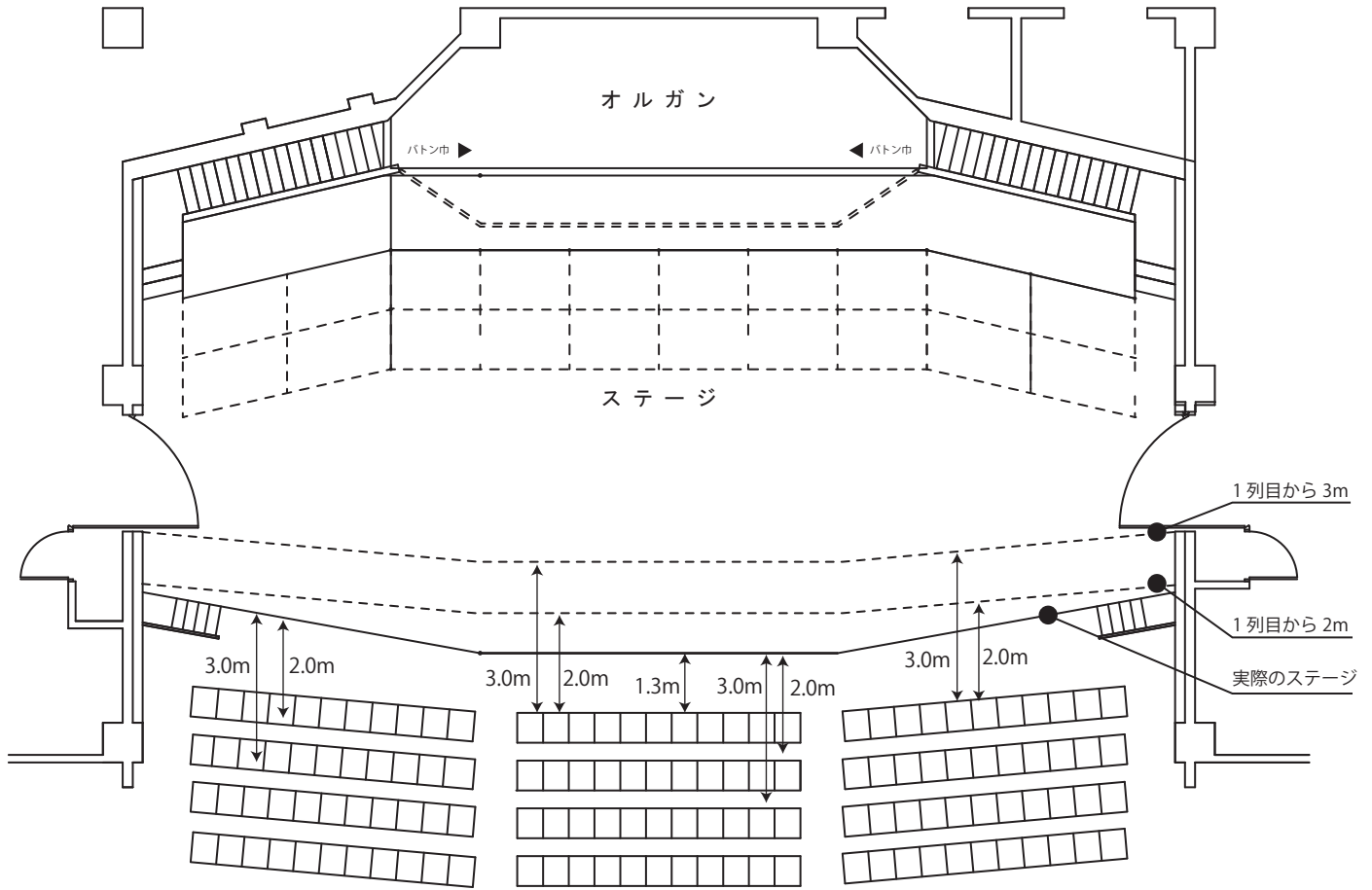
※図-1 参照

吹奏楽器等		合唱等	
マスクの着用	マスク着用及び咳エチケットの実施が望ましいが、難しい場合は演奏中のみマスクを外し、咳エチケットに努める。演奏中以外はマスクを着用する。	マスクの着用	マスク着用及び咳エチケットの実施が望ましいが、難しい場合は合唱中のみマスクを外し、咳エチケットに努める。合唱中以外はマスクを着用する。
人と人との 間隔	<ul style="list-style-type: none"> 人と人との間隔をなるべく2m以上（最低でも1m）距離を確保。ただし、やむを得ず距離が確保できない場合は、施設ごとの上限員数を超えない範囲内において、換気の確保により一層留意し、練習時に楽器用マスクやアクリル遮蔽板を使用する、リードを単体で吹いたり水抜きをしたりする際は、布などで飛沫飛散を防ぐなど、複数の手法を組み合わせることで感染リスクを下げる対策を行う。 指揮者や伴奏者と団員が対面となる際、お互いの距離は2m以上確保する。 トランペット・トロンボーンは前方の演奏者との距離を最低でも1.5m（可能な限り2m）を確保する。 	人と人との 間隔	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱時は一方向を向くことを前提に、人と人との距離は最低でも前後1.5m・横1m以上を確保したうえで、市松模様とする。また、市松模様が取れない場合は、前後の距離を2m以上確保する。 立っている団員の飛沫が座っている団員の顔へ付着する飛沫感染のリスクを避けるため、立っている団員と座っている団員が混在しないようにする。
		その他	<ul style="list-style-type: none"> 楽譜やプリント類の共有は避ける。 手洗い、手指の消毒、換気、利用後の設備消毒等、他の利用と同様のご案内をする。
結露水（唾等）の対策	布、紙等を用意し、演奏により発生した結露水を床に落とさない対策をする。吸収した布、紙等は、演奏者自ら処分する。 ※従来通り、ごみは基本的にお持ち帰りいただく。	<p style="text-align: center;">接触確認アプリを活用しましょう</p> <p style="text-align: center;">新型コロナウイルス接触確認アプリ COCOA</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>iPhoneの方はこちら</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>Androidの方はこちら</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>	
その他	手洗い、手指の消毒、換気、利用後の設備消毒等、他の利用と同様。		

図-1 コンサート時における舞台上の演奏者から客席最前列までの距離について

※舞台から客席最前列まで水平距離で2m以上の距離を置く。
 また、声楽の場合は、歌唱する人から3m以上の距離を置く。

【メインホール】



【小ホール】

